

いそべ圭太

責任ある政治 実行力ある改革

生まれ育った ふるさと 保土ヶ谷のために

■ 3期目の任期が始まりました

先の横浜市議会議員選挙において9,774票の付託をいただき、4月30日から3期目の任期が始まりました。

2期目後半から所属をしまして、「自由民主党横浜市会議員団」に引き続き属し、2期8年の経験と実績を基に、地域の皆様のために全力で取り組みを推進してまいります。

■ 第1回市会定例会

第1回市会定例会が1月28日から3月19日までの51日間に渡り開会され、平成31年度の横浜市予算をはじめ、横浜市政に関することを集中的に議論しました。

本会議、常任委員会(国際・経済・港湾)、特別委員会(基地対策)、予算研究会、予算委員会に出席しました。

■ 予算特別委員会(消防局審査)

2月25日に予算特別委員会の消防局審査に登壇し、6テーマ、22の質問や指摘、提言(意見)をしました。

救急体制の強化

質問 今後も増加が予測される救急需要に的確に対応し、市民の安全・安心な暮らしを支えていくためには、更なる救急体制の強化が重要だと考えています。そこで、29年中と10年前を比較した救急出場件数の状況について伺います。

答弁 29年中の救急出場件数は193,412件、19年中は152,811件となっており、10年間で40,601件、26.6%の増加となっています。

質問 30年度に取り組んだ救急需要対策について伺います。

答弁 昨年10月に救急隊を4隊増隊し、77隊を充足させました。また、将来的にも増加が予測される日中時間帯に対応するため、日中のみ運用する救急隊2隊を、試行的に運用しております。さらには、一時的に救急需要が増加する時季には、臨時的に救急隊を増強し、対応しております。

質問 高齢者人口の増加により、救急需要はますます増加していくことが予測されていることから、一時的な対応ではなく77隊以上の救急隊の整備が必要不可欠だと考えます。そこで、救急体制の強化に向けた今後の取組について伺います。

答弁 現在試行を行っております日中のみ運用する救急隊の効果を検証するとともに、現有救急隊77隊の更なる効果的・効率的な運用方法を検討します。また、昨年の救急出場件数が、前年比で1万件以上増加するといった極めて厳しい状況を踏まえ、救急隊の増隊も含めて検討を進めてまいります。

意見 77隊以上の救急隊の増隊についてしっかりと検討していただくことを強く要望します。また、救急隊を適正に運用するためには、人材育成も大変重要ですので、救急隊員教育の充実に向けた救急ワークステーションの整備もしっかりと進めていただくことを併せて要望します。



■ 予算特別委員会(資源循環局審査)

2月25日に予算特別委員会の資源循環局審査に登壇し、6テーマ、28の質問や指摘、提言(意見)をしました。

粗大ごみ業務

質問 粗大ごみ受付センターは、新たな委託事業者で運用を開始し、応答率については、対応しているオペレーターがまだ不慣れなこともあり低下しているものの、機能面では新たなサービスが加わって、充実した改善内容を展開していると聞いています。そこで、粗大ごみ受付センターをどのように改善したのか伺います。

答弁 新たな受付センターでは、受付時間の短縮・応答率の向上を図るために、適切な人員配置やオペレーターの教育を行っています。また、5か国語に対応できる受付体制や、インターネット受付ページの刷新など、市民の皆様の利便性の向上を図っているところです。

質問 これまでの粗大ごみ受付センターのインターネット申し込みは、使いにくい仕様になっており、インターネット受付は、これまで長年の課題でしたが、インターネット受付をどのように改善したのか伺います。

答弁 過去に申し込みの履歴のある方については、排出場所の確認を不要としまして、手続きを簡略しました。また、収集日前日に出し忘れがないように、リマインドメールを送付するようにしました。なお、インターネット受付も5か国語での対応が可能となりましたので、外国人の方の利便性も向上したと思っています。

質問 粗大ごみ受付センターの改善内容について伺ってきましたが、受付以外にも粗大ごみに関する課題として、今後検討すべき事案はあると思います。そこで、課題に対する今後の取り組み内容について伺います。

答弁 まず、現在の処理手数料ですが、品目ごとに設定されておりまして、市民の皆様がお調べになる際に非常に複雑で分かりにくいものとなっています。このため、今後、見直しを検討していきたいと考えています。また、粗大ごみを自己搬入される方が近年増えてきていますので、受入れ場所の増加に向けて、準備を進めてまいります。

質問 受付が完了しても収集までの日数を要してしまっは、サービスの向上に繋がったとは言えません。受付から収集までにかかる日数を短縮していくべきと考えますが、見解を伺います。

答弁 これまで、年末年始等の繁忙期には、1日あたりの収集個数を一時的に増やしまして、申込みの増加に対応してきました。31年度の収集業務の委託契約では、年間を通して1日あたりの収集個数を増やし、受付から収集にかかる日数を短縮します。

意見 ライフスタイルの多様化が進み、粗大ごみの出し方も、様々な選択肢が求められます。時代のニーズに即し、受付から収集まで速やかな対応をしていただくことを要望します。

いわゆる「ごみ屋敷」対策

質問 いわゆる「ごみ屋敷」対策において資源循環局がどのような役割を担っているのか伺います。

答弁 当局の職員は、排出支援に際して、区役所の職員等と共に、対象者のご自宅に入り、堆積物を収集し、運搬・処分を行います。また、いわゆる「ごみ屋敷」となる前に、区役所職員が片付けを行ったごみについても当局職員が戸別に収集するなど、未然防止にも取り組んでいます。

質問 排出支援の件数の推移について伺います。

答弁 これまでの実績を申し上げますと、平成28年度の排出支援の同意を得た件数は11件で、そのうち8件が解消されました。29年度は26件で、うち20件が解消されました。30年度上半期は15件で、うち11件が解消されております。

質問 これまでの事例の主な傾向について伺います。

答弁 健康福祉局が実施した事例基礎調査結果によれば、堆積者は、3つのタイプに区分され、「片付けられないタイプ」が43%、「集めるタイプ」が13%、「両者の混合タイプ」が31%となっており、「集めるタイプ」は、長期化・再発しやすい傾向にあるとされています。また、「ごみ屋敷」になってしまうきっかけとして、精神症状または身体症状の悪化などがあげられています。

質問 排出支援を主な役割として担っている資源循環局においても、堆積者の生活への支援といった視点からも取り組みを広げていただきたいと考えます。そこで、資源循環局もさらに一歩踏み込んで取り組むべきだと考えますが、見解を伺います。

答弁 当局では、排出支援が終了した希望者方をふれあい収集の対象者要件に新たに加えることで、再発防止に向けた取組をさらに進めていきたいと考えております。

意見 今後も引き続き、関係部署間で十分に連携しながら、それぞれが担う役割に主体的に取り組んでいくことを期待します。

紙面の都合により、主なやりとりのみ一部抜粋して掲載しています。当日の質疑の詳細は、私のホームページに掲載しておりますので、ぜひご覧ください。(ホームページをご覧になることができない場合は、印刷したものをお届けいたしますので、事務所までお気軽にご連絡ください。)

私が議会で取り上げる質問の多くは、日頃地域をまわっている中で、地域のみなさんからのご意見、ご質問、ご要望などが基となっています。何気ない会話の中からも、市政に臨むヒントが多くあると感じています。そのため、情報や時間のあるかぎり、地域の各種行事をまわらせていただいています。実際に、いただいた声をいくつも議会での質問や、提言として代弁してきました。

「大切なことは何か」を常に考えて行動しています。今後も、みなさまの声をお聞かせください！

平成31年4月30日現在の活動報告

横浜市議員 磯部圭太プロフィール

昭和56(1981)年8月26日生まれ 37歳
横浜市立星川小学校／横浜市立保土ヶ谷中学校
神奈川県立保土ヶ谷高等学校／帝京大学法学部法律学科 卒業
横浜市内の民間企業を経て／平成31年横浜市議員選挙 3期目当選
高校時代に生徒会長を経験／20代に自治会・町内会役員を経験
現在は青少年指導員(10年目)

横浜市議員

いそべ圭太 政務活動事務所

〒240-0065 横浜市保土ヶ谷区和田 1-12-17 ホーユウバレス和田町

TEL 045-337-3331 / FAX 045-337-3332

E-mail keita-iso@iso-becchi.com



日々の活動報告、政策など、内容盛りだくさん！絶賛更新中！

いそべ圭太

検索

▼ Facebook ページ URL
www.facebook.com/isobekeitaoffice

みなさまの声を
お聞かせください！



<http://www.iso-becchi.com/>